

通し番号	3705
------	------

分類番号	12-14-12-04
------	-------------

ラッカセイ「郷の香」の推奨品種採用	
[要約] ラッカセイ「郷の香」は、 <u>早生</u> 、 <u>多収</u> 、 <u>良食味</u> で <u>莢の外観品質が優れる</u> <u>ゆで豆用品種</u> である。「 <u>ユデマサリ</u> 」に替えて <u>推奨品種</u> に採用する。	
(実施機関名・部名) 農業総合研究所・生物資源部	連絡先 0463-58-0333

[ 背景・ねらい ]

神奈川県の落花生推奨品種は、煎り豆用品種「改良半立」「ナカテユタカ」、ゆで豆用品種「ユデマサリ」である。「ユデマサリ」は早生で多収だが食味の評価が劣り、需要量が減少している。そのため、「ユデマサリ」に替わるゆで豆用品種が求められている。そこで、早生、多収、良食味のゆで豆用品種を選定する。

[ 成果の内容・特徴 ]

「郷の香」は千葉県農業試験場落花生研究室（農林水産省らっかせい育種指定試験地）において「関東42号」（後の「ナカテユタカ」）を母、「八系192」を父として人工交配された後代から育成された。

- 1．収穫期は3日程度「ユデマサリ」より遅い早生品種である。
- 2．主茎長は「ユデマサリ」より約3cm長い。
- 3．最長分枝長は「ユデマサリ」より約4cm長く、総分枝数は並である。
- 4．耐倒伏性は強く、「ユデマサリ」並である。
- 5．収量性は「ユデマサリ」に優り、多収である。
- 6．莢の外観品質は「ユデマサリ」並の「やや上」である。
- 7．食味は「ユデマサリ」に優り、良食味である。

[ 成果の活用面・留意点 ]

- 1．ゆで豆用品種の栽培地域への普及を図る。
- 2．さび病にはやや弱いので注意する。
- 3．収穫が遅れると子実の品質や食味を低下させるので適期収穫する。

[ 具体的データ ]

表 1 生育調査結果およびゆで豆としての収穫期における形態調査結果

品種名	開花期 (月日)	収穫期 (月日)	主茎長 (cm)	最長 分枝長 (cm)	一次 分枝数 (本/株)	総分 枝数 (本/株)	倒伏	病害の発生程度				
								褐斑 病	黒渋 病	さび 病	汚斑 病	白絹 病
郷の香	6.26	9.7	27.5	32.9	5.6	12.1	0.0	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
ユデマサリ	6.25	9.4	24.3	28.3	5.8	11.5	0.0	0.5	0.5	0.5	0.5	1.0

- 注 1) 試験年次は平成4年～6年、8年、10年～12年  
 2) 栽培様式：普通栽培  
 3) 播種日：5.12  
 4) 倒伏および病害の発生程度の評価：0（無）～5（甚）

表 2 ゆで豆としての収量調査および食味調査結果

品種名	総莢重		上莢重		対標 準比 (%)	上莢 歩合 (%)	莢の外 観品質	食味
	成熟莢 (kg/a)	中間莢 (kg/a)	計 (kg/a)	計 (kg/a)				
郷の香	62.3	28.7	22.0	50.8	119	81.5	やや上	上
ユデマサリ	52.4	27.0	15.8	42.8	(100)	81.7	やや上	やや上

- 注 1) 試験年次は平成5年、6年、8年、10～12年  
 2) 収穫期は、ゆで豆としての収穫期  
 3) 莢の外観品質および食味：上、やや上、中、やや下、下

表 3 成熟期における収量調査結果

品種名	成熟期 (月日)	株当り 上莢数 (個)	莢実重 (kg/a)	上実重 (kg/a)	子実重 (kg/a)	対標 準比 (%)	剥実 歩合 (%)	上実 歩合 (%)	上実 百粒重 (g)
ユデマサリ	9.14	17.7	34.0	20.4	21.5	(100)	63	95	87.2

[資料名] : 平成12年度試験研究成績書(作物)

[研究課題名] : 優良種苗特性検定試験

[研究期間] : 平成12年度(平成4～12年)

[研究担当者] : 北川高弘、佐々木皓二